

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久穂で挑む中山間地のまちづくり
事業主体 (連絡先)	一般社団法人コノマチ 南佐久郡佐久穂町大字海瀬323-4
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,656,668円 (うち支援金: 1,312,000円)

事業内容

中山間地である佐久穂町でも、民間主導による地域実践でのまちづくりが可能であるという仮説と理念により、地元住民と信州大学経法学部の学生と共に活動・整備を行った。

- ・四ッ谷ポケットパークの整備 6月～12月
- ・FMラジオによる地域情報の発信 5月～翌年2月
- ・夏のイベント8月24日
秋葉屋・四ッ谷PP 参加者：50人
- ・活動報告会 2月8日
佐久穂町生涯学習館 参加者：50名



【整備されたポケットパーク】

【目標・ねらい】

- ① 地元住民との協働
- ② 場の整備と提供
- ③ 実践による可能性の立証

事業効果

- ① 大学生による公園整備への協力及びラジオ放送への出演依頼、そしてイベント参加などの呼びかけにより、動かないと思われた地元の人々が活動に参加してくれた。
- ② 利用していなかった農地が公園として整備され、多目的に利用可能となり、今後も地域の結びつきや大学生の継続的活動の場が整備できた。
- ③ 大学生の活動の場としては、人口や素材が少ない地域という中でも、限られた既存条件を活かすことで地元を活性化させるまちづくりは可能であることを立証できた。

※自己評価【 C 】

- 【理由】
- ・台風19号災害により事業を縮小しなければならなかった。
 - ・地元住民との協働は実現でき、学生や住民が交流できる場を作ることができた。
 - ・諸事情によりFM電波による放送を断念しなければならなかった。

今後の取り組み

公園整備により、地元住民への日常的開放や小規模でも多彩なイベントを企画開催ができる場ができたことで、今後の可能性が広がった。また、地元住民の参画もあったことから大学生との協働による活動が継続的に実施できる素地ができたことは大きい。更なる整備を毎年積み重ねて、中山間地のまちづくりの事例としていきたい。また、学生によるFMラジオは実現出来なかったが、様々な問題点も確認できた。FM電波の有効利用を模索した次の活動を実施していく予定である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある